

2014年9月期 決算説明会

2014年11月19日



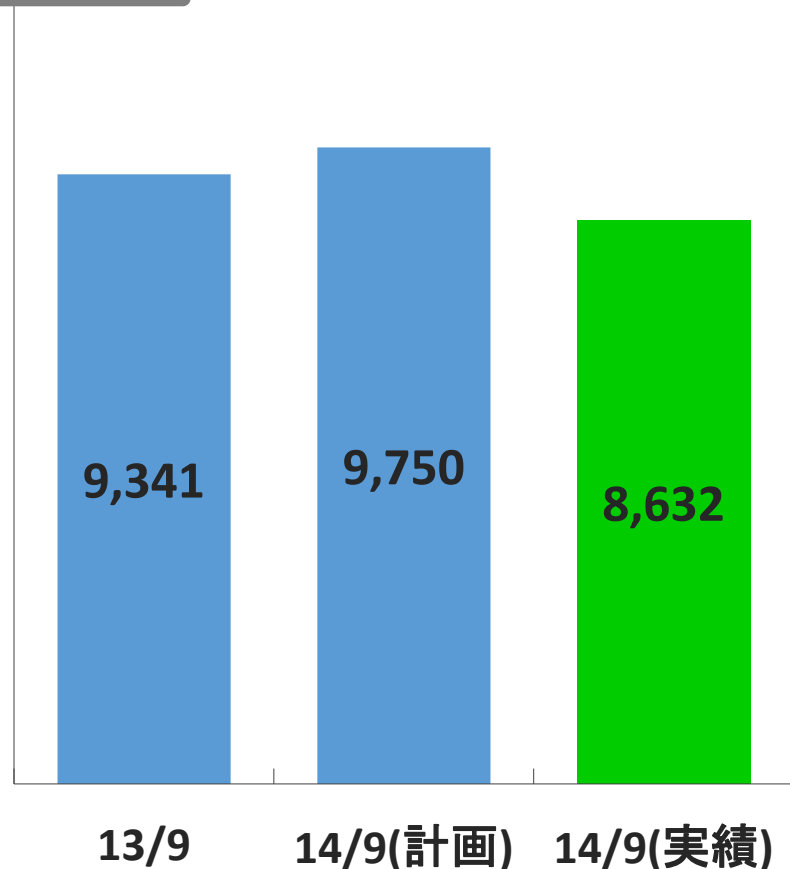
2014年9月期の決算概要

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

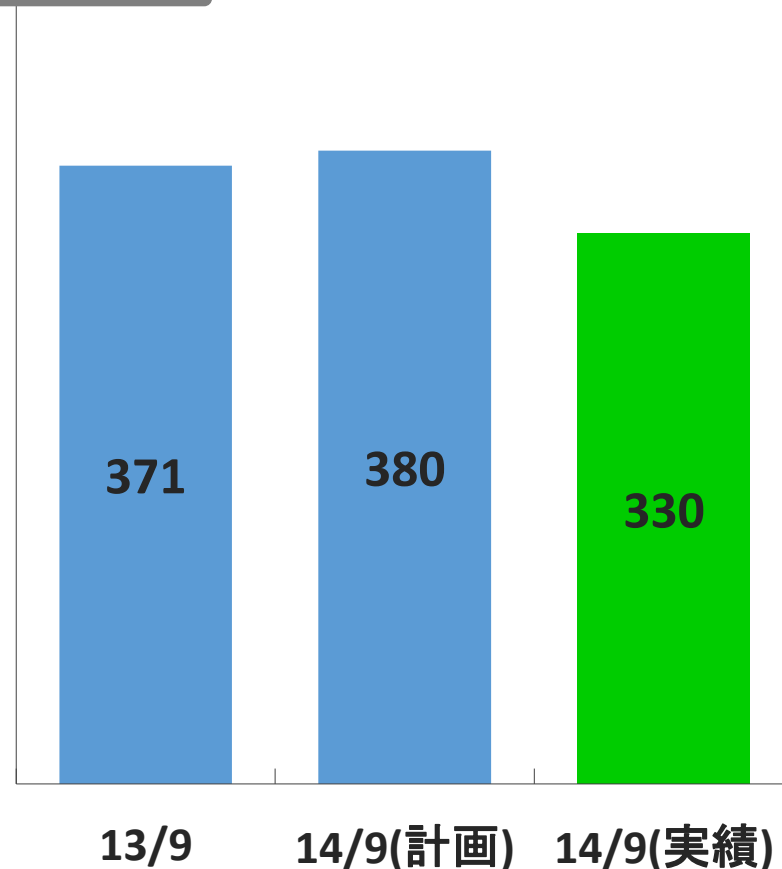
2014年9月期 連結業績ハイライト

減収減益、計画も未達

売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



2014年9月期 連結業績の詳細

本業では減収減益も、当期純利益は増益

(百万円)

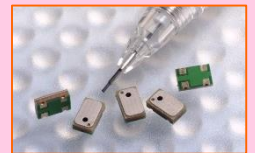
	13/9	14/9		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	9,341	9,750	8,632	△1,117	△708	△7.6
粗利益	2,518	2,720	2,331	△388	△186	△7.4
粗利益率(%)	27.0	27.9	27.0	△0.9	0.0	—
販売費及び一般管理費	2,168	2,340	2,092	△247	△75	△3.5
販管费率(%)	23.2	24.0	24.2	0.2	1.0	—
営業利益	349	380	238	△141	△110	△31.7
営業利益率(%)	3.7	3.9	2.8	△1.1	△1.0	—
経常利益	371	380	330	△49	△40	△11.0
経常利益率(%)	4.0	3.9	3.8	△0.1	△0.1	—
当期純利益	165	311	314	3	148	89.9
当期純利益率(%)	1.8	3.2	3.6	0.4	1.9	—
人員	471	—	452	—	△19	—

※ 14/9の販管費にのれん償却129百万円計上(13/9は126百万円)

※ 14/9の当期純利益には固定資産(土地)譲渡に伴う処理による法人税等合計額169百万円減少を含む

資料：セグメント・プロダクト

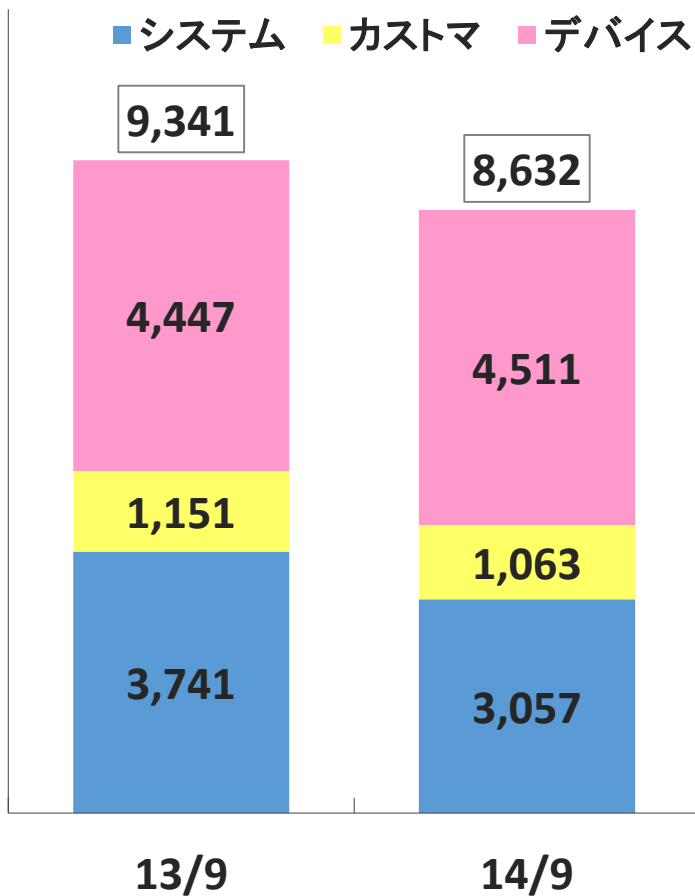
セグメント	プロダクト (商品類)	商品例
システム ※今期(15/3月期) よりシステムセグ メントの事業区分 を一部変更	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・EAS(商品監視システム) ・映像監視システム ・ストアマネジメントシステム ・ディスプレイセキュリティシステム ・オフィス入退室管理システム ・防災システム
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・メーリングシステム ・RFIDシステム ・ネットワークシステム
カスタマ	—	システムセグメントの商品の 構築・保守・運用管理
デバイス	電子	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ半導体 ・通信用電子部品 ・各種センサー
	産機	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドレール ・ガススプリング ・ソフトクローズユニット ・電子錠



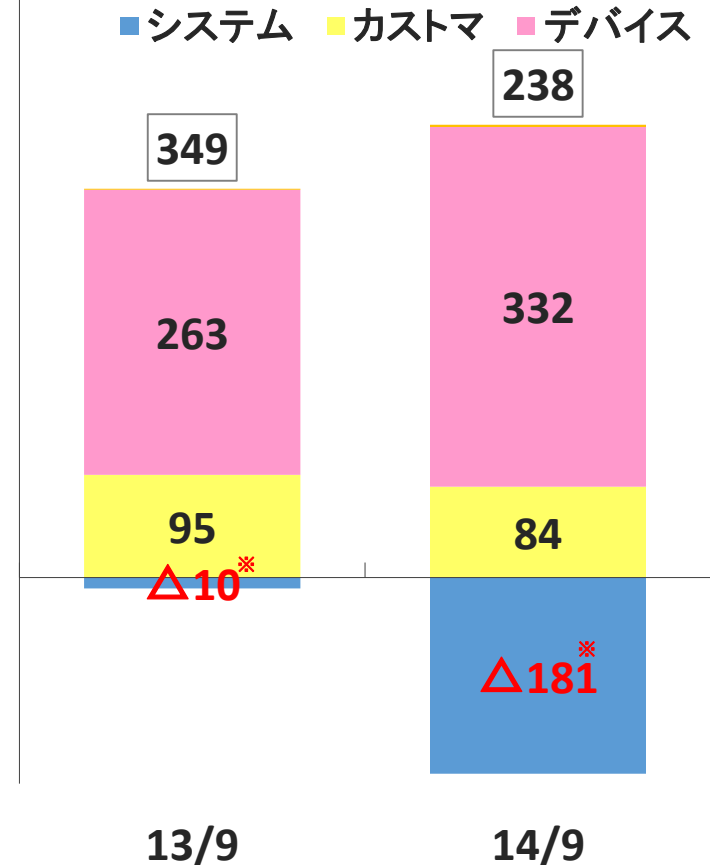
セグメント別業績のハイライト

デバイスは増収増益、システム・カスタマは苦戦

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



※システムには投資コスト(のれん償却)含む

14/9 129百万円

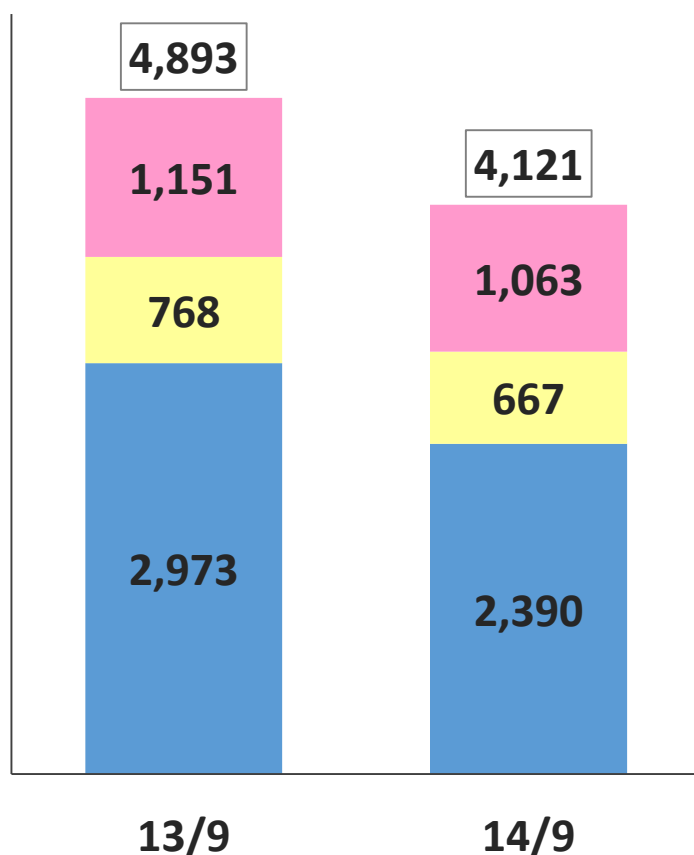
13/9 126百万円

システム＋カスタマ・サービスセグメントの業績

特にセキュリティプロダクトの不振により減収減益

売上高（百万円）

■ セキュリティ ■ その他ソリューション ■ カストマ



定性情報

- ◆ 小売リテール市場は消費増税後の販売鈍化に伴う設備投資先送りの影響を受け大幅減収
- ◆ タイ現地法人はクーデターによる政情不安のため案件停滞となり減収
- ◆ その他ソリューションプロダクトでは、メーリングシステムの不振により減収

営業利益（百万円）

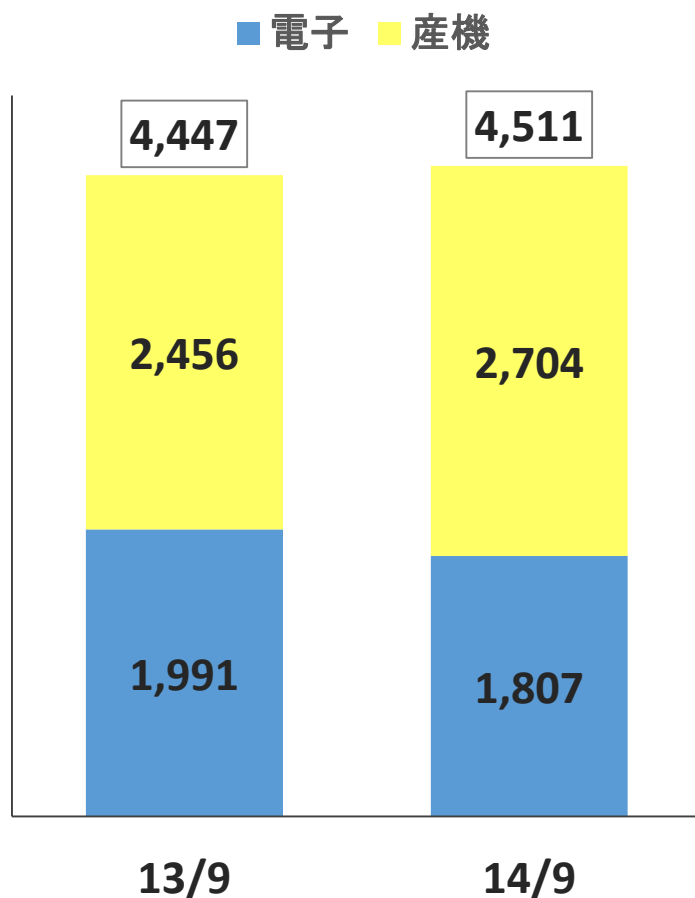
	13/9	14/9	前期比
システム	△10	△181	△170
カスタマ	95	84	△10
合計	85	△96	△181

※今期(15/3月期)よりシステムセグメントの事業区分を一部変更。これに伴い過去期の区分も組み替え。

デバイスセグメントの業績

産機は引き続き増収となるも電子は減収

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ 産機プロダクトでは、引き続き中国向けATMや遊技市場への販売が好調で増収
- ◆ 電子プロダクトでは、海外向け液晶テレビやプリンタ等への販売が好調だったものの連結子会社減により減収

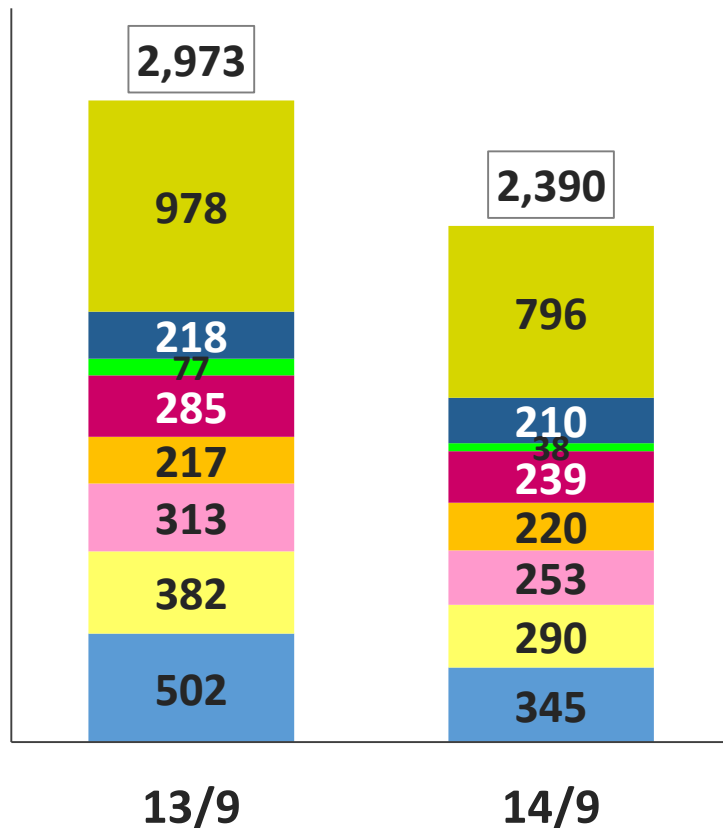
営業利益 (百万円)

	13/9	14/9	前期比
デバイス	263	332	68

セキュリティプロダクトの業績

ほぼ全市場で減収

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ GMSでは、前年のEAS大型導入に及ばず減収
- ◆ リテール市場全体で消費増税後の買い控えの影響により新規出店が様子見となりEASの導入進まず
- ◆ オフィスは大型リプレイス案件により前年並み
- ◆ タイ現地法人はクーデターによる政情不安のため案件停滞となり減収



EAS (商品監視システム)

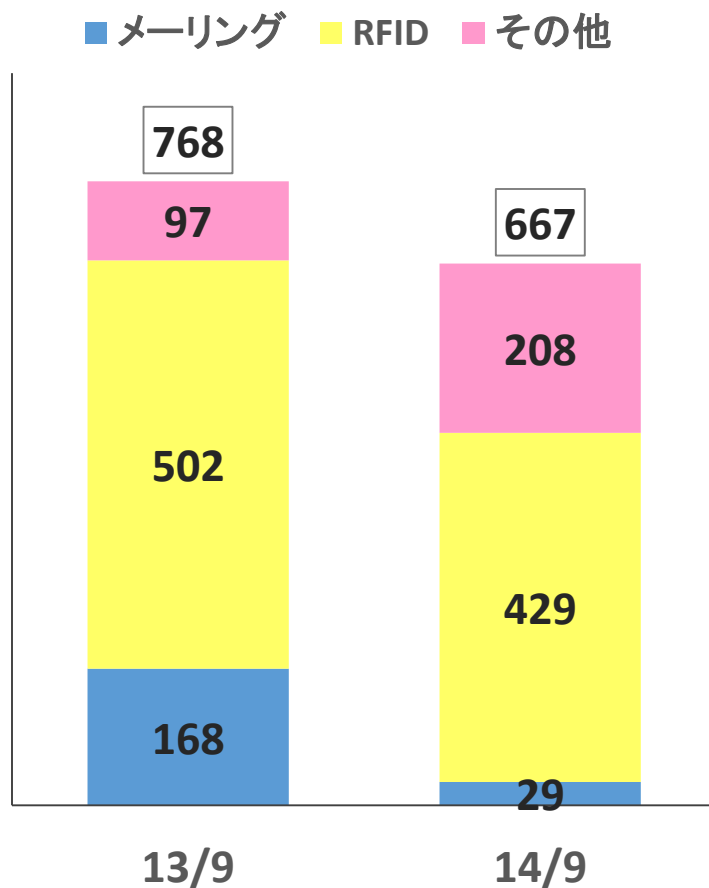


IPカメラ

その他ソリューションプロダクトの業績

その他(ネットワーク商品)が増収となるも全体では減収

売上高(百万円)



定性情報

- ◆ RFIDはマイティカード(株)の周波数帯特需が終息傾向のため減収となるが、主力の物流企業向けタグを始めとする通常のビジネスは堅調に推移。
- ◆ メーリングは新製品のリリース遅れにより積極的な販売活動ができず減収。
- ◆ その他は、ターゲット商品の無線LANシステムが伸長、加えてLANスイッチの販売増により増収

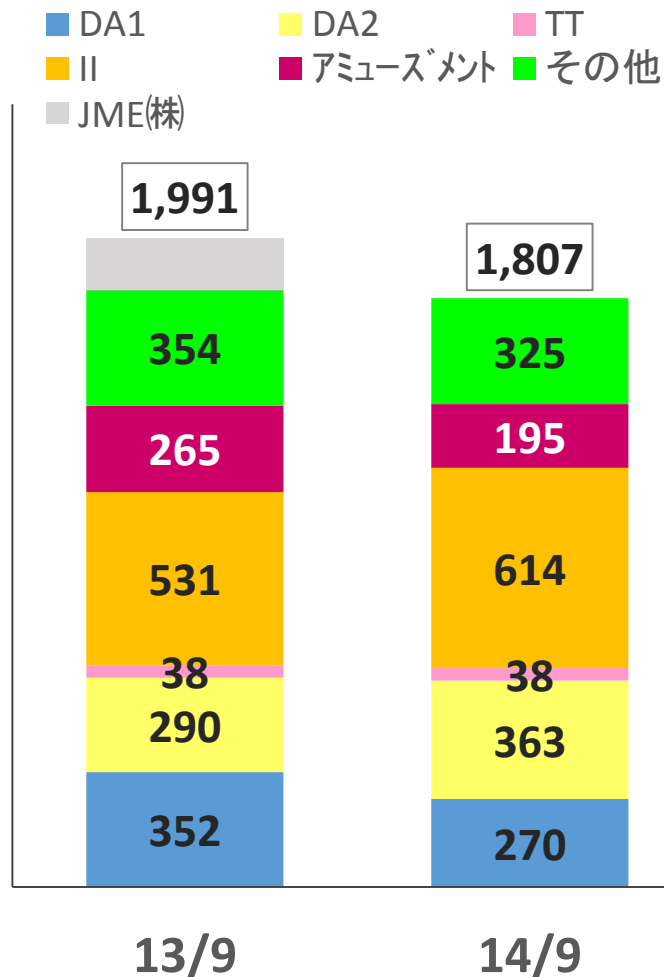


RFIDを利用した棚卸例

電子プロダクトの業績

ターゲットの産業機器市場は伸長するも連結子会社減により減収

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ 重点市場として取組んでいる産業機器市場 (II) は、電話交換機向けに新規取扱メーカーのDSP が初採用となる等、順調に推移
- ◆ 設置型情報家電市場 (DA2) では海外向け液晶テレビやプリンタへの販売が増加
- ◆ アミューズメントは、遊技機器向けは増収だが、大型案件の携帯ゲーム機の販売終息により減収
- ◆ 全体では連結子会社の減により減収



シリコンマイク



DSP
(デジタル・シグナル・プロセッサ)

資料：電子プロダクトの市場区分

DA1 「デジタルアプライアンス1」

モバイル系情報家電 … 携帯電話、スマートフォン、デジタル・カメラ等

DA2 「デジタルアプライアンス2」

設置型情報家電 … 液晶テレビ、パソコン、プリンター等

TT 「テレマティクス」

車載用機器 … カーナビゲーション、車載カメラ等

II 「インダストリーインフラ」

産業機器 … 測定器、医療機器、放送設備、通信基地局等

アミューズメント

… ゲーム機、遊技機等

その他

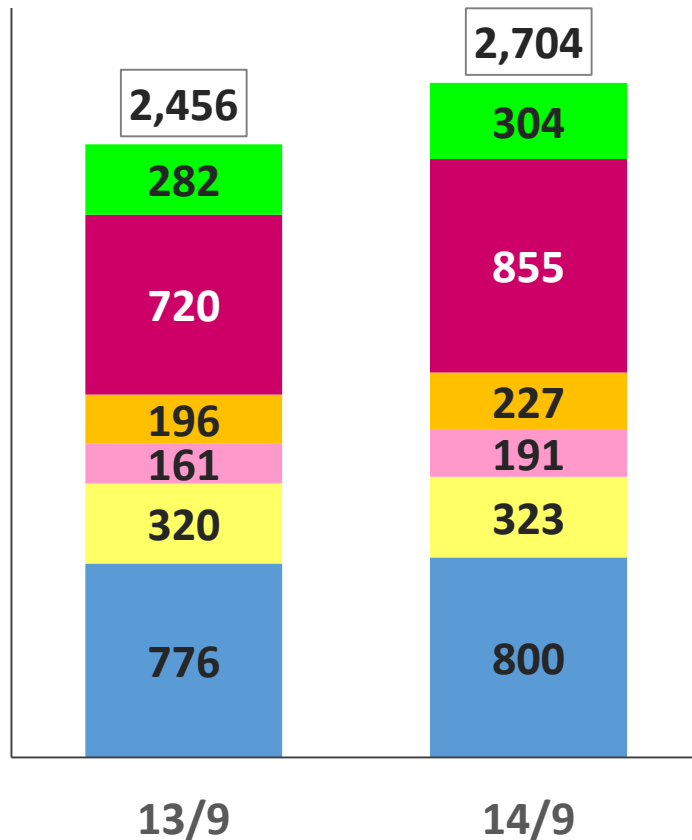
… パワー(電源関係)、代理店販売等

産機プロダクトの業績

全市場で増収、グローバル化も進行中

売上高 (百万円)

■ 自動機 ■ 住設 ■ OA/PPC
■ OF ■ 遊技 ■ その他



定性情報

- ◆ 遊技市場で採用機種や製品種類の増加により引き続き大幅増収
- ◆ 自動機市場は日本メーカーの中国向けATM(現金自動預け払い機)への販売が堅調に推移
- ◆ また海外メーカーのATM向けの採用も進む



スライドレール

資料：産機プロダクトの市場区分

自動機

… ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設 「住宅設備」

…システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚等

OA・PPC

…複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF 「オフィスファニチャー(家具)」

…オフィス用キャビネット、机、椅子等

遊技

…パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他

…上記以外で半導体製造装置、サーバーラック、鉄道ドア、ホームドア等

貸借対照表の状況

土地・のれんの減少等により資産減少

(百万円)	14/3	14/9	構成比(%)	増減
流動資産	16,261	16,056	85.6	△204
現金預金	7,212	7,994	42.6	782
受取手形及び売掛金	5,821	4,926	26.3	△895
商品及び製品	2,372	2,164	11.5	△208
固定資産	3,036	2,690	14.4	△345
有形固定資産	499	316	1.7	△183
無形固定資産	896	757	4.0	△139
投資その他資産	1,639	1,615	8.7	△23
資産合計	19,297	18,747	100.0	△550
流動負債	4,199	3,486	18.6	△712
支払手形及び買掛金	2,863	2,513	13.4	△350
固定負債	754	603	3.2	△151
純資産	14,343	14,657	78.2	313
負債純資産合計	19,297	18,747	100.0	△550

連結キャッシュ・フロー計算書の状況

土地の売却により投資活動によるキャッシュフローが増加

(百万円)

	13/9	14/9	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	866	747	△118
投資活動によるキャッシュフロー	△98	139	237
財務活動によるキャッシュフロー	△122	△111	10
現金及び現金同等物の増減額	658	782	124
現金及び現金同等物の期首残高	6,507	6,462	△45
現金及び現金同等物の期末残高	7,165	7,244	78

株主還元策について

安定的な配当を継続的に実施

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向:連結
2009年3月期	28円00銭	14円00銭	160.5%
2010年3月期	24円00銭	12円00銭	163.0%
2011年3月期	24円00銭	12円00銭	57.9%
2012年3月期	29円00銭	12円00銭	84.1%
2013年3月期	24円00銭	12円00銭	42.2%
2014年3月期	24円00銭	12円00銭	41.5%
2015年3月期(予想)	24円00銭	12円00銭	(見込み) 37.4%

※2012年3月期の年間配当金には創立60周年記念配当5円を含みます。

通期の見通し

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2015年3月期 通期業績計画

グループ全体で自立的な成長を推進

(百万円)	14/3 実績	15/3 計画	前期差	前期比(%)
売上高	19,581	20,500	918	4.7
粗利益	5,360	5,810	449	8.4
粗利益率(%)	27.4	28.3	1.0	—
販売費及び一般管理費	4,330	4,660	329	7.6
販管费率(%)	22.1	22.7	0.6	—
営業利益	1,030	1,150	119	11.6
営業利益率(%)	5.3	5.6	0.3	—
経常利益	1,133	1,160	26	2.4
経常利益率(%)	5.8	5.7	△0.1	—
当期純利益	565	630	64	11.4
当期純利益率(%)	2.9	3.1	0.2	—

中期事業方針

基本方針

独自の付加価値創出とグローバルビジネスの拡大

① 既存事業の収益拡大

② グローバルビジネスの拡大

③ 新規ビジネスの創出

今後の成長戦略

国内既存事業の収益基盤を固め、海外+新規で成長を実現



新規ビジネスの創出

- システム:RFID、リテールソリューションの市場形成・拡大
- デバイス:社会インフラ市場(太陽光発電等)の開拓

グローバルビジネスの拡大

- TKタイを拠点とする東南アジア市場開拓の推進
- 中国市場の移管ビジネス継続と現地ビジネスの拡大
- 新規海外市場への参入

既存事業の収益拡大

- 戦略市場への集中化によるシェア拡大
- 独自商品(製品・サービス)の開発による市場開拓
- 付加価値創出による競争力強化
- 顧客満足向上による重点顧客の維持拡大

下期の業績計画

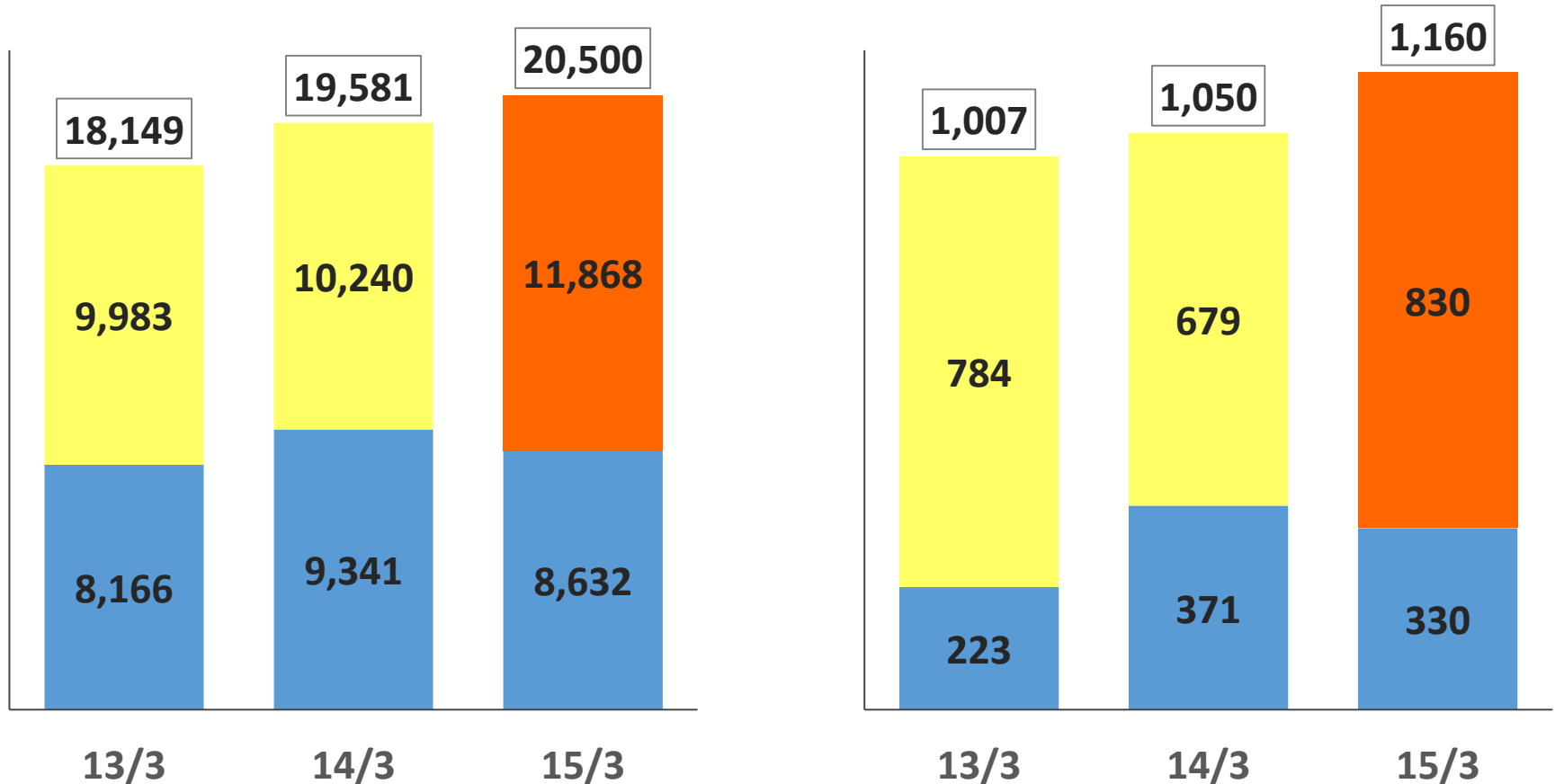
下期は売上・利益共に今上期を上回る計画

売上高 (百万円)

経常利益 (百万円)

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込

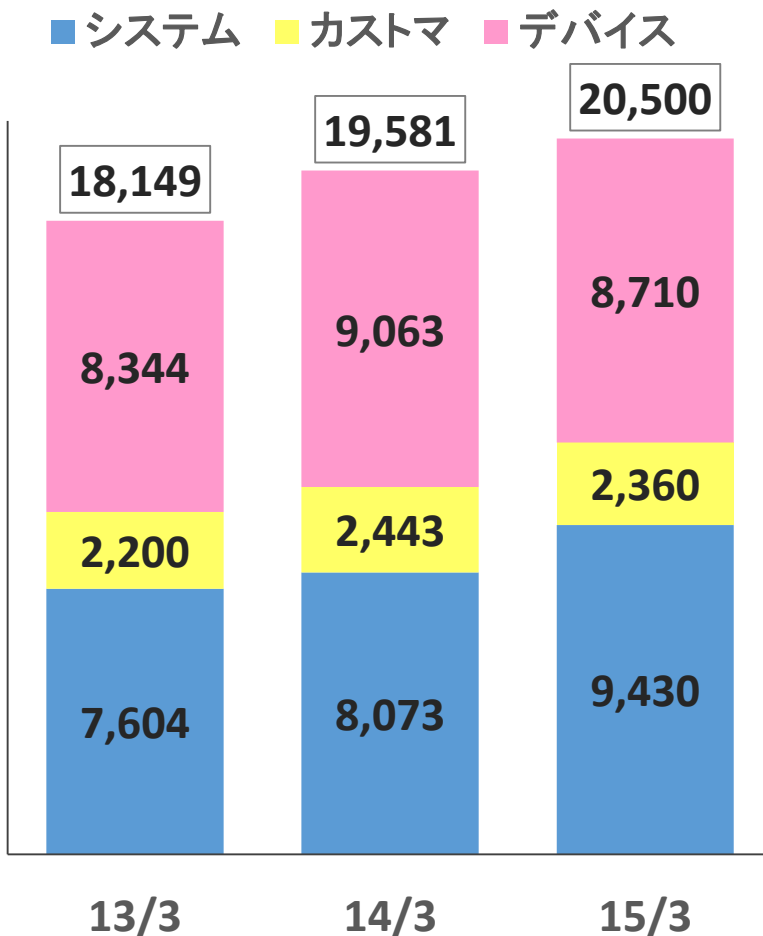
■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



2015年3月期 セグメント別販売計画

システムは付加価値強化等により大幅増収

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ システム：
セキュリティは付加価値強化による国内市場の拡大と海外事業の強化、新規ビジネスはRFID等の市場形成・拡大を図る
- ◆ デバイス：
電子は産業機器市場での拡販継続、産機は国内新規市場の開拓、及び海外での拡大を図り、競争激化の遊技市場をカバー

(百万円)

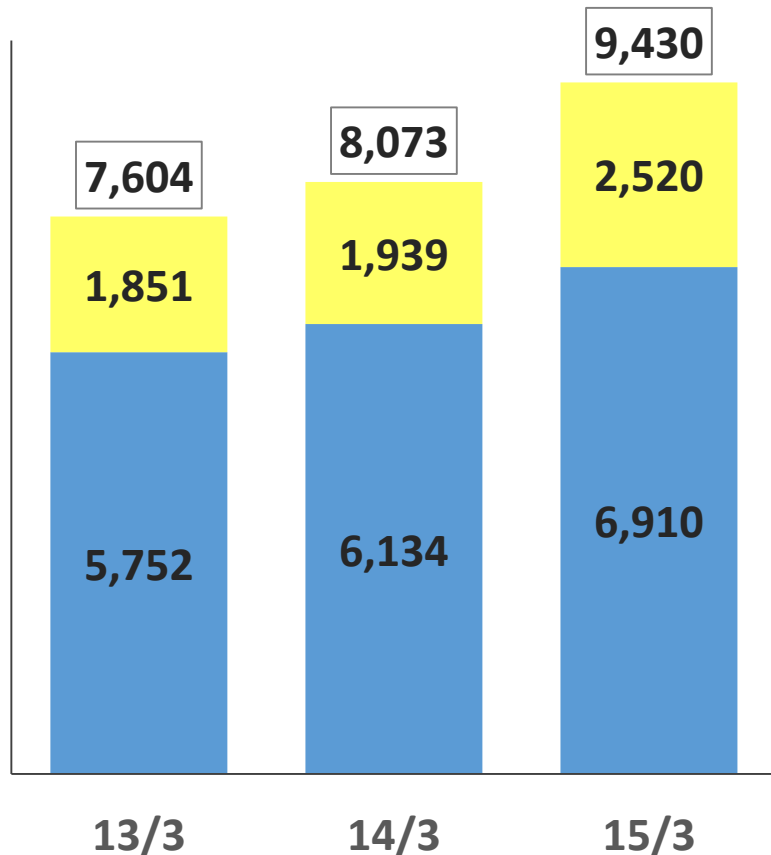
	14/3	15/3	前期比
売上高	19,581	20,500	919
営業利益	1,030	1,150	119
経常利益	1,133	1,160	26
当期純利益	565	630	64

セグメント別販売計画の詳細

遊技を減収計画とした産機を除き、全プロダクトで増収

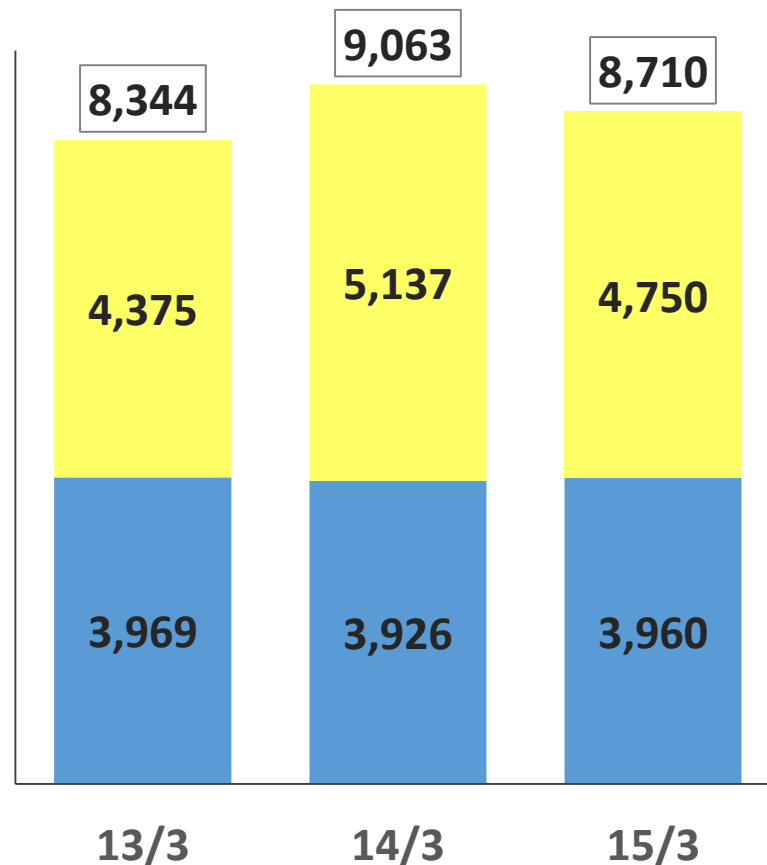
システム

■ セキュリティ ■ その他ソリューション



デバイス

■ 電子 ■ 産機

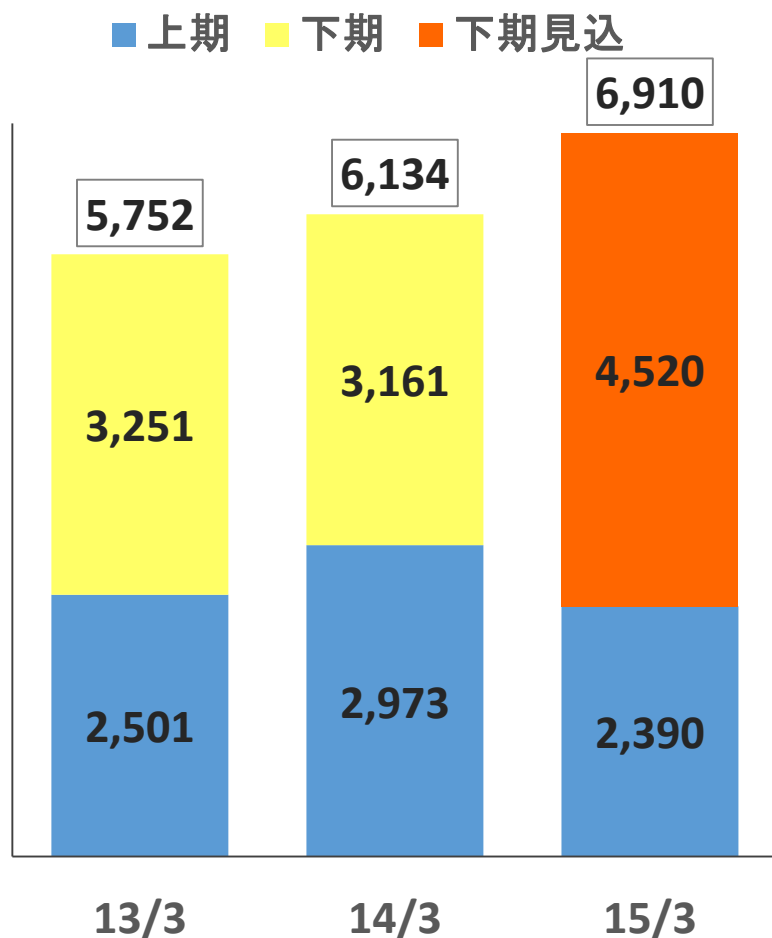


セキュリティプロダクトの販売計画

EASを中心としたソリューション提案強化、及びグローバル化推進

売上高 (百万円)

主な施策



- ◆ EAS(商品監視システム)を中心とするトータルセキュリティソリューション(EAS+CCTV+顔認証等)の展開で競争力強化
- ◆ ストアパフォーマンスソリューション(RFID+入店カウンター等)で新市場形成
- ◆ 既導入顧客の運用支援強化を通じたタグの販売拡大
- ◆ オフィスセキュリティのコンサルティング事業を強化し大型案件獲得
- ◆ グループ内の連携強化によりタイを中心とする東南アジア日系企業の開拓加速

※今期(15/3月期)よりシステムセグメントの事業区分を一部変更。これに伴い過去期の区分も組み替え。

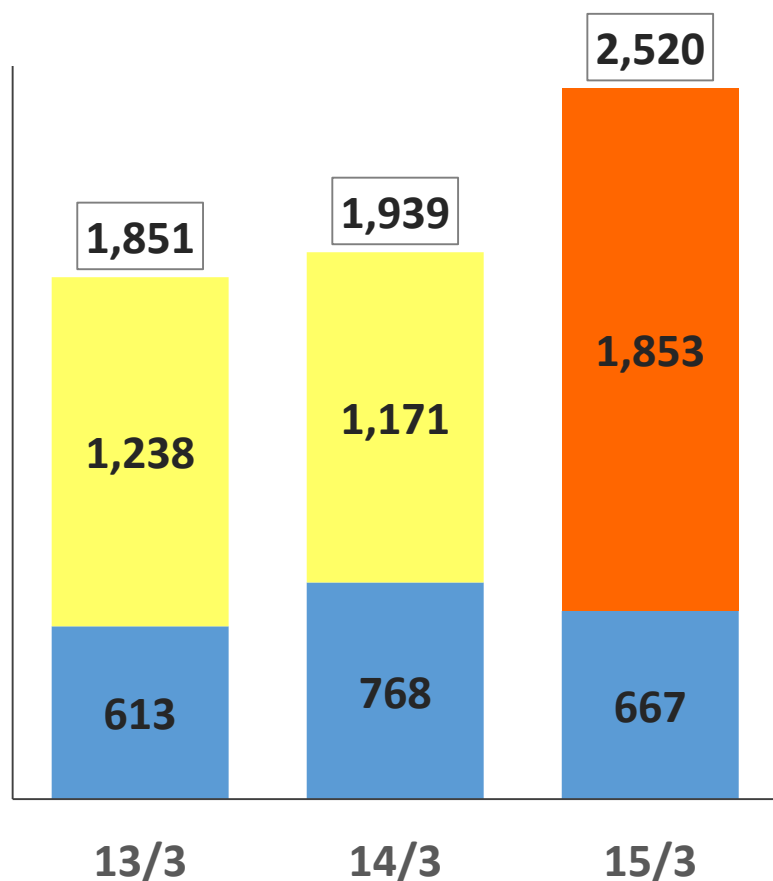
その他ソリューションプロダクトの販売計画

RFIDの市場形成継続と既存事業の拡大

売上高 (百万円)

主な施策

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



- ◆ 物流企業向けRFIDタグの販売強化
- ◆ グループ内の連携強化により、アパレル小売店向けRFID在庫管理システムの販売強化
- ◆ 付加価値の高い特殊RFIDタグの開発・販売
- ◆ メーリングプロダクトの再構築
- ◆ クラウドを活用した無線LANシステム一括管理サービス事業の販売強化

※今期(15/3月期)よりシステムセグメントの事業区分を一部変更。
これに伴い過去期の区分も組み替え。

電子プロダクトの販売計画

産業機器市場への販売強化継続

売上高（百万円）

主な施策

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



- ◆ 産業機器市場(II)のアナログビジネスの拡大
- ◆ 通信用IC・センサーの深耕
- ◆ 日系企業の現地開発拠点への営業サポート体制の強化
(グローバルビジネスの推進)
- ◆ 回路図提案による複数デバイスの提案強化
- ◆ 社会インフラ市場(太陽光発電、鉄道等)の攻略

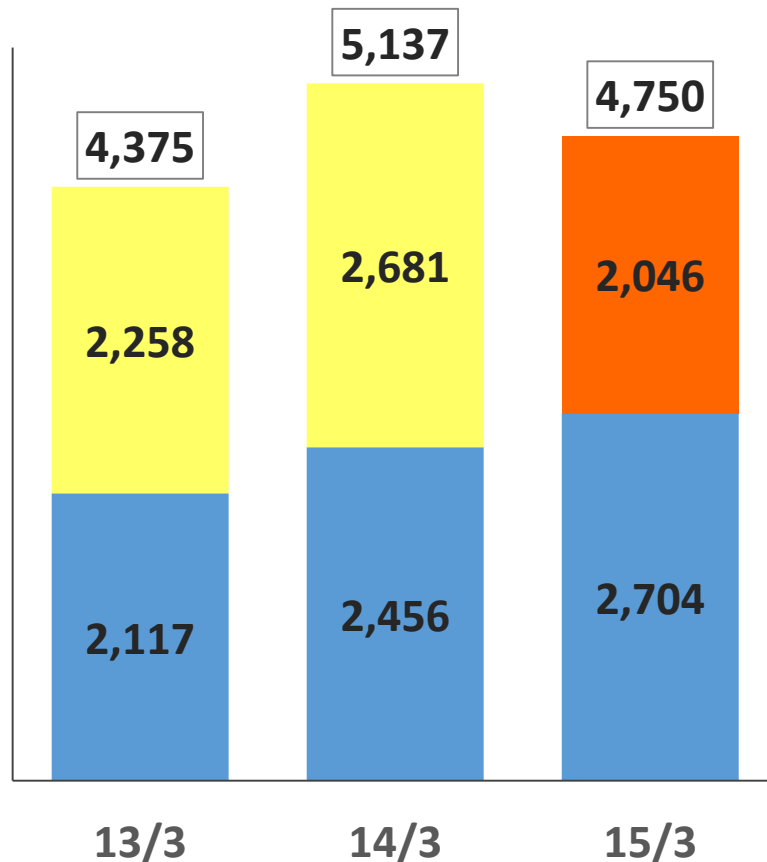
産機プロダクトの販売計画

遊技以外、各市場ともに伸長を目指す

売上高 (百万円)

主な施策

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



- ◆ 自動機(ATM)の国内メーカーの深耕と海外メーカーの攻略継続
- ◆ OF(オフィス家具)での拡販継続及び医療・店舗什器での採用促進
- ◆ 北米や中国・台湾向けビジネスの推進
- ◆ 遊技は価格競争激化により保守的に計画
- ◆ 新市場開拓
(鉄道、車両、航空機、冷蔵ショーケース等)

トピックス

独自の付加価値の創造と
グローバルビジネスの本格展開の状況

TK Corporate Profile

中期事業方針

基本方針

独自の付加価値創出とグローバルビジネスの拡大

① 既存事業の収益拡大

② グローバルビジネスの拡大

③ 新規ビジネスの創出

ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。